



47期SDGs取り組み報告

株式会社やまやコミュニケーションズ

2022年12月23日

環境

SDGsを世界の持続可能な社会・経済・環境の実現のための
共通課題、社会的責任として取り組むべきものと捉えています。

事業活動を通じ、貢献できる項目について積極的にその責任を果たしていきます。

※削減目標は2018年9月～2019年8月実績基準



2030年目標



2030年目標値	実施事項
CO2排出削減 30%削減	<p>年間実績：2%削減達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で海上輸送コンテナの流通が滞り不規則な運行となった 但し、運行調整を兼ねたコンテナ本数増加に伴いCo2排出量が加算となった ■ 福岡→神奈川間を、陸便→船便へ変更によるモーダルシフトを実施拡大し、Co2排出量削減 ■ 福岡→沖縄間を、エア便→船便へ変更によるモーダルシフトを実施拡大し、Co2排出量削減 ■ バイオマスインクの利用検証
廃棄ロス削減 50%削減	<p>年間実績：84%削減達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 原料落下や資材ロスによる廃棄量削減 ■ 塩蔵液、調味液の保管期間延長による廃棄量削減 ■ 一部商品の詰め替え可能な容器を採用
プラスチック使用率削減 35%削減	<p>年間実績：42%削減達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多種商品のエコ、紙トレイ切替による使用率削減 ■ 発泡スチロールの軽減（OEM品）
食材廃棄ロス削減 50%削減	<p>年間実績：40%削減達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 仕込ロット・調理タイミングの見直しを行い、外食事業部における食材の廃棄ロス削減 ■ ロスが発生しないメニューの開発 ■ 節水バルブへの切替

※削減目標は2018年9月～2019年8月実績基準

食育

これからの日本を担う子どもたちや若い世代の親たちが、日本食の素晴らしさを再認識し、次世代へ継承できる食育活動を実施しています。



福岡県朝倉にあるやまや自社農園で収穫した新米とやまやの辛子明太子などを使い、こどもたちにおむすびの作り方をレクチャーしご家族と一緒に食べてもらうイベントを実施。

実物の稲を使用しお米がどのように生育するのか、食卓に届くのかの食育授業も行いました。

【実施概要】

- 企画名：おむすび名人になろう！
- 実施日：2021年11月27日（土）・28日
- 実施店舗：ごはんとわたし流山おおたかの森S・C FLAPS店



2日間で約40名のご家族にご参加いただくことができました。

稲の実物を見るのも始めてというこどもも多く、香りを嗅いだりと興味深々の様子でした。こどもたちの握ったおむすびを始めて召しあがるご家族も多かったようで、こどもたちだけでなくご家族にも喜ばれる体験会となりました。最後におむすび名人の認定証、お写真を贈呈しました。

「美味しいお米がとれるのに、担い手がない」という農家の方々からの相談を受け、「お米づくりを通して、朝倉を、そして九州をもっと元気にしたい」と、福岡県朝倉市の自社農園でお米作りを行っています。収穫時期にあわせて、社員に向けた農業体験会を実施しました。

47期は社内向けとして実施しましたが、将来的には地域の方や一般のお客さまにもご参加いただけるような農業体験を実施し、地域の発展に貢献したいと考えています。

【実施概要】

- 座学：いちご・お米の栽培知識
- 実作業体験：いちごの定植と、お米の収穫
- 他部署との交流
- 参加人数：60名



▲レポート記事はこちら



<https://www.yamaya.com/recruit/blog/detail.html?id=1977>

新型コロナウイルス感染予防のため、工場見学は休止継続中ですが、新たな取り組みとして、オンラインでの工場見学を実施。工場見学を休止している会社が多く、子供たちが学ぶ機会が減ってきている中で、やまやの明太子、安心安全について知ってもらうことができました。

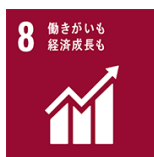
新工場での工場見学プロジェクトが始まっているので、より多くのお客様に喜んでいただけるような施設、運営体制を考えていきます。



地域・社会

1974年に創業したやまやは、地元福岡のお客さまや近隣の皆さま、お取引先関係者各社の多大なご支援・ご協力をいただいたからこそ、事業を継続することができています。

その感謝の気持ちを忘れずに地域・社会へ貢献できる取り組みを実施しています。



福岡県朝倉にあるやまや自社農園「果樹蔵ファーム朝倉」では、46期（2020年9月～2021年8月）作付け面積5.4町。47期（2021年9月～2022年8月）は、いちごハウスを倍の面積増設。柿の栽培開始。

作付け面積は5.9町となりました。栽培品種も増加中。担い手不足となっている農地の新しい担い手として農業を推進中です。いちご狩りでは、通常・SPの2種類コースを準備、SPコースでは、フルーツサンド作り、いちごのバック詰め体験を実施。満足度の高いいちご狩りとなっています。

品目	46期（2020年9月～2021年8月） 作付け面積	47期（2021年9月～2022年8月） 作付け面積
米	5.3町	5.5町
いちご	1反	2反
柿	0	2反
合計	5.4町	5.9町

栽培品目	品種
いちご	あまおう・四つ星・紅ほっぺ・かおり野
お米	元気つくし、ヒノヒカリ、実りつくし
いちじく	とよみつひめ
ぶどう	シャインマスカット
スイートコーン	おおもの
ジャガイモ	出島
高菜	三池高菜
柿	冬柿 2022年栽培開始
麦	

作物を大切に想う気持ちを忘れないでほしいという想いの元、【貧困をなくそう】【質の高い教育をみんなに】【陸の豊かさを守ろう】を目的に、「とうもろこしお世話係」に任命された社内の各部署の代表者が約2週間の間苗を育てる取り組みを行いました。

成長した苗は、朝倉にあるとうもろこし畑の一面に『やまや畑』を作り定植し、収穫まで苗の成長を社内へ共有しました。



地域との活動として、農道の保守・保全活動や、農業用用水の溝掃除や草刈りなどの美化作業に参加。朝倉マルシェ 果樹蔵では、いちごの収穫体験や地域の生産者との定期的なイベントを開催し、地域の活性化を行っています。

文化協賛

- 博多どんたく港まつり
- 観世倶楽部
- Heart Art in KYOTO 2022 第24回エイズチャリティー美術展



健康診断受診率ほか、さまざまな取り組みが評価され、健康経営に関する認定を取得することができました。

- 健康づくり優良事業所ゴールド（協会けんぽ）
- 健康経営優良法人2022（中小規模法人）（経済産業省）



健康関連イベントの実施

健康管理の意識を高めるため、各種体験やEラーニングを実施しました。

- 健康測定器具体験（握力計・立位体前屈計・背筋力計）
- マッサージモニター体験
- マッサージチェアモニター体験
- 働く女性の生理痛教室 Eラーニング

コロナ禍対応のメンタル面サポートのため、外食事業部SV・店長を中心に、社会保険労務士・精神保健福祉士によるカウンセリングを実施しました。

- カウンセリング：20名実施

ストレスケアの方法をメンタル面・身体面から学ぶ研修を、2回シリーズで実施しました。

- リフレクション研修：15名参加

情報発信

健康に関する情報をクイズ形式で紹介。

自律神経の整え方や、健診結果の見方、歯の健康など、タイムリーな情報と合わせてサイボウズ掲示板にて発信しました。

- 掲示板での健康情報発信：46回

健康管理や会社の健康経営の取り組みについて説明。協会けんぽの弓削保健師の講義や、福岡市の出張講座「はじめましょう！歯周病予防」も組み入れました。新入社員からも健康の大切さを感じたとの感想を得ることができました。

- 新入社員研修の実施



健康診断受診率実績（2022年2月末時点）

地域・社会

昨年の婦人科の受診率が、乳がん：32%、子宮頸がん：27%でしたので、大幅に受診率が向上しました。

受診項目	対象者	受信者	受診率
定期健康診断	602名	569名	95%
婦人科検診（乳がん）	101名	70名	69%
婦人科検診（子宮頸がん）*	133名	65名	49%

*コロナ禍で受信できない方を除く

スポーツ推進

地域・社会

テニスの実業団を結成し、初の大会出場。

予選突破はならなかったが、やまやテニス部の新しい一歩となりました。

- 全国実業団対抗テニストーナメント九州予選出場



ダイバーシティ

従業員が働く上で心身ともに健康であることが重要であると考え、社内研修や外部講師による研修を年間通して実施しています。

また、自発的な健康管理を経済面からサポートする目的で、婦人科検診の全額補助や、条件付きで会社が保険料を負担する終身医療保険制度を導入しています。



LGBTQ+アライ育成研修受講

ダイバーシティ

オリンピック等もあり近年高まっている、LGBTQ+も含めた多様性の理解の促進のため、P&G提供プログラムである研修を、約15名で受講した。

福岡県障がい者雇用促進大会登壇

ダイバーシティ

テレワーク勤務等の取り組みについて、外食事業部の堀さんと、山脇取締役が発表を行いました。勤務にあたっての良い点も悩みもリアルに話したこともあり、来場者アンケートでは「大変参考になった」との声を多数いただきました。



こどもの保険レクチャー開催

ダイバーシティ

医療保険プログラムの取扱いをしていただいている、(有)センターの山本氏による、子どもの保険に関するレクチャーを開催しました。



女性活躍推進プログラム参加・社内開催

ダイバーシティ

キャリア開発及びダイバーシティ推進の一環として、九州経済産業局の「人材戦略パッケージプログラム」に参画し、現状分析やロードマップ設定を行った。第一段階として、福岡市プログラムによるワークショップ、社内キャリア研修・セルフキャリアドックを実施しました。



目指すべき姿

風土 フラットで色とりどりである。

- 女性本人 得意なことを活かし、自身の進んだ居場所できいきと働いている。そのための声を上げることができている。
- 管理職 部下の意見を聞き、様々な人に合ったキャリアを提案している。個々人のカラー・特性を大事にしながら導き、支えている。
- 経営層 ビジョンを定め、目指す方向へ従業員を導いている。



■ 管理職向け「部下の発達障害」研修実施 約12名参加

発達障害の特性や対応方法について、管理職向けに研修を行い、相談も受けました。

■ ジョブコーチ、訪問看護連携

休職・復職について、従業員と会社の間立ち、専門知識からアドバイスやサポートをいただいています。

■ 工場体験実習

博多高等学園の工場体験実習を受け入れた。卒業生である従業員との質疑も実施しました。

ライフサポート

■ 保険

医療保険取扱いの(有)センターの山本氏による、保険と病気の備えに関するレクチャーを開催しました。
(新入社員研修)

■ マネープラン

福岡銀行による「資産形成・活用セミナー」を実施。セミナー後の座談会では大いに盛り上がりました。

■ 男性育休

周知を開始。対象者には個別に制度説明を行っています。

